

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	みずいろの木		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 4日	～	令和7年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 2名	(回答者数)	2件
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 4日	～	令和7年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4名	(回答者数)	4件
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の願いや関係機関との話の中で、一人一人に合わせた個別療育の設定をしていること	療育内容が固定化しないよう1か月ごとに療育内容の見直しを職員間の話し合いの中で行っている。また、私生活の中で必要な力を付けていくことを意識していることで、家庭でも自分で取り組むことが増え保護者の負担軽減にもつながっています。	3か月、半年に1回のモニタリングの機会等を用いて、個別療育の内容の確認を保護者の方にも行ってもらう、事業所で何を頑張っているのかや、家庭での取り組み等の情報交換を引き続き行っていく
2	広さのあるプレイルームや「発達の庭」での活動を行えることで、子どもたちがストレスを感じにくく、活発に活動できるような環境になっていること	庭での遊びの中で、丘の上り下りや草滑り段差を上げることで等体作りに必要な運動が行えるようになっていきます。また、プレイルームには登り棒があったりと手足の使い方やバランス感覚をきたえる遊具が設置されていることで遊びの中で運動機能を高めることができます。	土曜日などの放デイのお友だちとの関わりを通して、見本を見せてもらい、小学生になる楽しみや、出来ることを自分で増やしていく力を身につけられるよう支援していきたいと考えています。
3	少人数での対応の中で、大人との関わりを十分に受けられることや、土曜日には年上のお友だちと一緒に遊び甘える体験ができること。	児発のお友だちのうちに、周りの人に甘えたり助けてもらう経験をたくさん積むことで、小学生になった際には年下の子や周りの人に優しく接することができるよう働きかけています。	引き続き、放デイのお友だちとの関わりの中で様々な経験ができるよう働き掛けていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	平日利用の際には、お友だちの人数が少ないため集団活動での取り組みが行いづらい。	放課後等デイサービスを希望する児童が多く、地域的問題として放課後等デイサービスを希望する児童が溢れていることから、支援を必要としているお友だちを受け入れると児発のお友だちの受け入れ人数が制限されてしまっていると考えられる。	地域の取り組みや会議に参加していきながら問題解決に取り組み、児発のお友だちの利用を増やしていくことや、感染症に気を付けながら事業所間での交流を行う機会を作って行けたらいいなと考えています。
2	保護者会の呼びかけや参加を促しているが、共働き等の家庭環境もあり保護者会の参加率が低いこと	事業所の利用回数の違いや習い事等で、保護者会の参加を懸念されている保護者さんがいるように思う。	1度参加されると保護者会の良さを感じ何度も参加して下さる保護者の方もいらっしゃるため、保護者会での活動の報告や様子をお伝えし興味を持っていただくことや、回数を増やしていきながら参加しやすい雰囲気づくりに、事業所としてご協力ができるればいいなと考えています。
3	作業療法士などの専門職員がいないこと	人口が少なく、県外に就職していることや就職先が事業所などの民間事業所ではない場合が多いためと考えられる。	放デイという事業形態や事業所での取り組み等を宣伝すること。また、求人サイト、SNS等の利用を行いながら多くの方に事業所のことを知っていただくことが必要ではないかと考えています。